

## 令和2年第7回議会運営委員会 要点記録

開閉会日時	令和2年4月8日(水曜日)	開会	9:46	会議場所	別海町議会 委員会室1
		閉会	11:40		
委員の出欠	7番 木嶋 悦寛	出席	8番 松壽 孝雄	出席	9番 今西 和雄
	10番 小林 敏之	出席	15番 戸田 憲悦	出席	
委員外の出席	議長	西原 浩			
事務局職員	事務局長	小島 実	事務局主幹	松本 博史	事務局主事 庄司 孝子
会議に付した事件及び会議結果など					
発言者	会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。				
委員長 10番 小林	9:46 開会・挨拶				
	開催概要説明				
	会期1日、出席委員5名、欠席委員0名、員外1名 議長				
委員長 10番 小林	開会挨拶				
委員長 10番 小林	議事 1 議会及び委員会に関する条例、規則等に関する事項について				
	1 議会基本条例の制定について				
	(1) 議会基本条例調査特別委員会の設置について				
事務局主幹 松本	資料により内容説明				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 根拠となる第2期別海町議会活性化計画</li> <li>② 議会基本条例調査特別委員会設置に至る背景及び目的並びに作業の方針</li> <li>③ 議会基本条例調査特別委員会の構成</li> <li>④ 議会基本条例調査特別委員会の審査期間</li> <li>⑤ 議会基本条例調査特別委員会の正副委員長の互選</li> </ul>				
委員長 10番 小林	質疑				
委員 7番 木嶋	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 条例制定に向けた議員からのアンケート聴取は、よいアイデアだと考える。付託案件のうち、自治基本条例について、所管との調整はどのように考えるか。議会運営委員会で作成する草案作成作業においても、自治基本条例との整合を考慮する必要があるのではないか。</li> </ul>				
事務局主幹 松本	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 草案作成作業においても整合をとる必要があり、さらには、特別委員会の調査において所管職員の出席を求め、自治基本条例との整合を確認していく必要があると認識している。</li> </ul>				
委員 7番 木嶋	<ul style="list-style-type: none"> <li>② 議会基本条例の制定後に、自治基本条例とのずれが生じる可能性がある。この場合の対応について現段階での考えは。</li> </ul>				
事務局主幹 松本	<ul style="list-style-type: none"> <li>② 自治基本条例には総合計画の議決要件を規定し、議会基本条例においても議決要件を規定しつつ、下位の規則で議決に至る議会への説明手続きなどを定めるなど、所管とすり合わせをしながら、議会と執行機関が互いに歩み寄っていくような特別委員会の調査が望ましいと考える。</li> </ul>				
委員長 10番 小林	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 4月16日に開催する全員協議会協議会においても議員各位から質疑があると想定されるため、回答の準備をしてほしい。</li> </ul>				
事務局主幹 松本	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 法務支援する立場として準備を進めたい。</li> </ul>				
委員長 10番 小林	<ul style="list-style-type: none"> <li>② 昨年の総務文教常任委員会との合同視察において、先駆議会に視察したが、事務局としてはどのような印象を持ったか。</li> </ul>				
事務局主幹 松本	<ul style="list-style-type: none"> <li>② 理念条例と政策条例が混合している印象を持った。当議会においては、政策の具体的規定を盛り込まず、理念条例とし、政策的な規定は、別途、条例、規則及び訓令で規定することが望ましいと認識している。</li> </ul>				
議長 西原	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議長発言してよろしいか。</li> </ul>				
委員長 10番 小林	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発言を許可する。</li> </ul>				
議長 西原	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 12月までの5カ月間での条例の成文化作業が可能かどうか。自治基本条例の見直しを考えると間に合うか。町側のスケジュールの都合もあるが、どう考えるか。</li> </ul>				

## 令和2年第7回議会運営委員会 要点記録

事務局主幹	松本	<p>① 現在、自治基本条例に規定している議会及び議員の役割、活動原則等について、今後作成する議会基本条例においても、当然にして盛り込まれるべき考え方が並んでいること、また、総合計画の議決要件を発効するのが、次の議員改選年度の翌年度の計画の見直し、あるいは、第8次総合計画策定前となり、それまでに時間が十分あるため、議会基本条例の制定に合わせて自治基本条例を改正しなくても、後追いで、自治基本条例に規定している策定委員会の意見を聴きながら、必要に応じて改正作業を進めていくものと見込んでいる。</p>
委員	7番 木嶋	③ 草案作成のスケジュールは。
事務局主幹	松本	③ ゴールデンウィーク明けから議会運営委員会で草案の協議を重ね、6月定例会前には成文化を終わらせるスケジュールをイメージしている。
委員長	10番 小林	議事2 議会活性化について
		1 委員会の調査力及び政策力の向上について
		(1) 予算決算審査特別委員会の設置について (案)
事務局長	小島	資料により内容説明
		<p>① 根拠となる第2期別海町議会活性化計画</p> <p>② 予算決算審査特別委員会の設置に係る議会運営委員会の考え方について</p> <p>③ 予算決算審査特別委員会の構成</p> <p>④ 予算決算審査特別委員会の審査機関</p> <p>⑤ 予算決算審査特別委員会の正副委員長の互選</p> <p>⑥ 予算決算審査特別委員会の設置に伴う議会運営の改善</p> <p>⑦ 各定例会会期及びその前後における審査の流れ</p> <p>⑧ 滋賀県甲賀市議会の定例会及び委員会日程の例</p> <p>⑨ 令和2年度別海町議会定例会及び関連会議の日程 (案)</p> <p>⑩ 令和2年度別海町議会予算決算審査スケジュール (案)</p>
		休憩 11:15
		再開 11:25
委員長	10番 小林	質疑
委員	7番 木嶋	① まず、申し上げたいのが、昨年度の決算審査において感じたことに起因するが、やはり議会からの決算審査の意見に対して、行政が予算に反映する意識を持ってもらうよう、議長から理事者に申し入れていただきたい。
議長	西原	① 了承した。
委員	7番 木嶋	② 決算審査の流れの説明にあった「審査意見書」と「追跡事項協議」の関係について再度説明を。
事務局主幹	松本	② 「審査意見書」は、委員会内部の協議において、委員が本審査を通じて述べたい意見の提出のことである。「追跡事項協議」は、予算への反映に向けて、本審査の結果をもとにしての執行機関への通知に当たって、その前段で追跡事項を協議する委員間討議のことである。
委員	7番 木嶋	③ 決算審査の総括質疑は、どうするか。理事者が決算審査の結果を知る何らかの手続きをどうするか。
委員	15番 戸田	③ せっかく全員で審査をするから、区切りとして、全員の意見として理事者に総括質疑をし、予算への反映を目指すのがよい。
事務局主幹	松本	③ 確かに理事者に質疑をせず一般質問を行うのは、乱暴であるので、総括質疑をした上で、それを常任委員会単位で振り返り、納得に至らない場合は、政策全般の協議の上で一般質問を行うのがバランスがよいかもしれない。
委員	7番 木嶋	③ 10月上旬に意見を提出し、10月中旬に総括質疑をするのがよいのではないか。

## 令和2年第7回議会運営委員会 要点記録

委員長 10番 小林	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正副委員長については、議会運営委員会の申し合わせ事項を参考に、今年度は、産業建設常任委員長と総務文教常任委員長が正副委員長を務めるということによろしいか。 (「異議なし」の声あり)</li> <li>・ 産業建設常任委員長が委員長、総務文教常任委員長が副委員長ということで申し合わせとする。</li> <li>① いま一度確認をするが、追跡事項の協議結果を常任委員会が参考にし、調査を進めていくということか。</li> <li>① 追跡をしなければならぬと感じた事例の一つとしては、昨年度の決算審査特別委員会において、バイオガス発電株式会社の経営改善計画について、折り返し地点の1年経過した成果の質疑があったが、「次週に会社の会議があるので、そこで明らかになる」との回答であった。しかし、その後、特別委員会は解散されるため、常任委員会で追跡しなければ、結局、既に経営改善計画の2年が経過したこととなる。もちろん、産業建設常任委員会で今閉会中に調査を行う予定であるが、こうした事例からも追跡は必要と考える。</li> <li>① 私は理解するが、各位よろしいか。</li> <li>・ 追跡していくことで、所管も議会及び委員会からの意見反映を意識する。予算決算の調査結果を各常任委員会で追跡していくことを改めて確認したいが。 (「異議なし」の声あり)</li> <li>・ 各委員会で追跡することを決定する。</li> <li>① 追跡の結果を一般質問することについては、どう考えるか。</li> <li>① 予算や決算だけの一般質問を行うことは、それは委員会の総括質疑で済むということになるため、予算・決算を含めて事務事業全体、政策全体の課題の中から政策論議すべき事項を協議し質問を構築する必要があるため、やはり常任委員会単位での一般質問構築が望ましいと認識している。 (「異議なし」の声あり)</li> <li>・ 各委員会で追跡することを決定する。</li> </ul> <p>議事3 令和2年第2回定例会ほか議会運営について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 第2回定例会の会期について 資料により内容説明 質疑なし</li> <li>2 予算決算審査特別委員会の審査日程について (案) 資料により内容説明 質疑なし</li> <li>3 第3回全員協議会協議会の進め方について 資料により内容説明 質疑なし</li> </ol> <p>議事4 その他</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 次回議会運営委員会の開催について</li> </ol> <p>暫時休憩 日程調整のため自由討議 再開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自由討議の結果、次のとおり開催することで決定する。なお、本日の協議の結果、以下のとおり全員協議会協議会を開催することと決定する。</li> <li>① 第8回議会運営委員会 日時 令和2年4月27日(月) 10:00～ 委員会室1</li> <li>2 その他</li> </ul>
委員長 10番 小林	
委員 9番 今西	
事務局主幹 松本	
委員 9番 今西	
委員長 10番 小林	
委員長 10番 小林	
委員 9番 今西	
事務局主幹 松本	
委員長 10番 小林	
委員長 10番 小林	
事務局長 小島	
委員長 10番 小林	
事務局長 小島	
委員長 10番 小林	

## 令和2年第7回議会運営委員会 要点記録

委員	15番	戸田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナウイルス対策について、各常任委員会で調査をすべきでないか。 (各常任委員長から「了承した」の声あり)</li> <li>・ 旅行届があり、道外に旅行する議員の登庁の取扱いについて協議願いたい。</li> </ul> <p>暫時休憩</p> <p style="padding-left: 20px;">登庁基準等について自由討議</p> <p>再開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自由討議の結果、事務局においてガイドラインの案を作成し、FAXで議員各位の意見と聴取した上でルールを定めることとする。このガイドラインをもって、コロナウイルス対策となる会議運営を行う。</li> </ul>
事務局主幹		松本	
委員長	10番	小林	
委員長	10番	小林	11:40 閉会